

上宮寺通信

第十七号

生き方の修正

新しい年となりました。今年も一年よろしくお願い申し上げます。

しかし年々、時の経つのが早くなる気がします。ついこの前、お正月を迎えたと思ったら、またすぐにお正月がやってきた気がします。

先日、あるテレビで放送されていました。人生の折り返し地点は、80歳まで生きるとすると20歳になるとのこと。

0歳から20歳までの感じる時間の長さ、20歳から80歳までの感じる時間の長さは一緒だそうです。さらに歳をとるにつれて加速がっていくと伝えていました。

私もだんだんとのその加速を感じる歳になってきました。

年々、訪れるのが早く感じるお正月ですが、やはり新年を迎えると気持ちも新たにまります。

お正月には浄土真宗をはじめ仏教各宗派で修正会という行事が行われます。仏様の前で身を正し、自分自身を見つめ直し、生き方を修正させていただく。修正会という行事にはこのような願いが込められています。

私は縁あつて教誨師(きょうかいし)という役割をいただいています。教誨師とは刑務所等の矯正施設で受刑者に対して講話をしたり、相談に乗ったりする宗教者のことをいいます。

そういう中で罪を犯した人たちと接する機会があるので、人が罪を犯すのは本当にはわづかなボタンの掛け違いから起こるのだなということを痛感することがあります。

「自分はそんなつもりはなかった」。まさかこんな大事になるなんて……。後悔を口にする人は少なくありません。

親鸞聖人は「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし(人間は縁によっていかなるふるまいもする存在である)」(『歎異抄』)といわれています。教誨の場に立つと、その意味を深く考えさせられます。

しかし、それは縁さえ起れば罪を犯しても仕方がないというのではなく、そのような存在であるからこそ日々の修正が大

切になってくると教えられるのです。

修正会とはお正月に行う行事とされていますが、仏様の願いからいえば手を合わせる毎日の生活こそが修正会です。

我が身を振り返りながら一日を大切に過ごさせていたただく。その積み重ねが大事なのではないでしょうか。



◆行事案内

上宮寺の行事

1月1日(元旦・水)

修正会

時間：午後二時～三時頃

1月23日(木)

上宮寺講

時間：午後二時～

2月23日(日)

上宮寺講

時間：午後二時～

3月8日(日)

春のお彼岸・永代経法要

説教：林 祥眞師(一宮市禮讃寺)

皆さまのご参詣・ご参加をお待ち
しています。

その他の行事

1月20日(月)

2月7日(金)

3月9日(月)

讃頌会研修会

「南無阿弥陀仏

～人と生まれたことの意味を

たずねていこう」

講師：四衢亮氏(高山市不遠寺)

時間：午後二時～三時半

会場：東別院会館2階

会費：千円(一回)

讃頌会とは上宮寺が属する
名古屋教区第30組の聞法会で
す。どなたでも参加できます。



◆話題あれこれ

○12月15日に名古屋別院報恩講
へ上宮寺からも団体参拝を行いま
した。天候に恵まれ、とても暖か
い報恩講でした。楽入りの法要を
皆さんと一緒に参りすることが
できました。ありがとうございます
でした。

○今年の12月は、日中は暖かい日
が多かったですが、朝晩との寒暖
差で体調不良を訴える人も多いと
聞きます。インフルエンザも例年
よりも早く流行しています。どう
かお気を付けください。

○我が家にも受験生がいますが、
いよいよ受験シーズン本番です。
寒い冬のあとには必ず暖かい春が
待っています。

【お志ありがとうございます】

渡邊様

【雑感】

ここ数年、年末になると話題に
のぼるのが「除夜の鐘」。年越しの
風物詩でもあるのですが、近隣住
民から苦情が寄せられるとのこと
で中止もしくは昼に行うという寺
院があるとのこと。「時代の流れだ
から仕方ない」「いや、伝統行事と
してやるべきだ」と賛否両論が出
るのですが、皆さんはどう思われ
るのでしょうか。上宮寺には鐘楼が
ないのでそんな心配は無用なので
すが、個人的には一年に一度のこ
とだから大目にみてもらえないの
かなと思います。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052・871・0547